



沿革

1855年産業革命による鉛筆の需要増加に伴い創設され、以来150年もの歴史を持つペンと鉛筆のインターナショナルカンパニー。1966年ファイバーチップペンの製造を開始、1971年には世界初の蛍光ペンを製作。2001年人間工学に基づいたbionicを発表し、2003年万年筆業界へ参入。2004年筆記具市場での先駆者として評価され「最も革命的な企業のOPI賞」を受賞する。

商品特性

150年の歴史を持つスタビロは、鉛筆とペンのインターナショナルカンパニー。以前はインクの量やラインの太さがスタビロのセールスポイントだったが、現在はデザイン・トレンド・ライフスタイルの3つが商品のコンセプトとなっている。スタビロが開発した蛍光ペンBOSSは、文字の上をなぞって強調する画期的な商品で、今も蛍光ペン市場で最も売れている商品として評価されている。



Gustav Adam Schwanhauser
スタビロ創業者

1840年ドイツ、10人兄弟の末っ子として生まれる。恵まれた教育環境に育ち、青年期には彼の才能は周囲の誰もが認めるものだった。1865年父の援助を受けて鉛筆工場だった「Grossberger & Kurz Pencil Factory」を買収、その後工場を軌道に乗せ、施設を拡大。また、ニュールンベルグの貿易調停委員などを経て、商業管理官としての地位も築いた。1908年世界。